



横田

つい先日、お墓参りに行った際の心温まる、ご家族の光景です。

「ここにいるご先祖さんのお陰で、婆ちゃんも〇〇ちゃんも生まれてこられたのよ。遠くにおるときでも、こっちに帰ってきたときも、ありがたい気持ちを込めて、手を合わせてお祈りしようね。」

小学生低学年と思しき女の子が目目を閉じて合掌をし、帰り際に墓誌（ご先祖様代々の名前が彫られた石碑）を撫でながら「また来るね、ありがとう。バイバイ…」 無縁社会と云われる昨今ですが、この様な光景を見ると、ご先祖様との繋がりを大切にしてきた文化、遠くにも手を合わせ亡き人を想い、今自分たちが存在している事への感謝の念をもつこと。それが、これから未来の有縁社会を作っていくうえでの、大事な基礎であり教育であるのではないかと考えさせられました。

私達が携わっている人生最後の儀式「葬儀」においては、全国的に死そのものを軽んじて考えられている傾向にあり、お孫様が参列しない、ご遺体の処理を第一の目的とする、家族で収骨をしない、長きにわたって培われてきた本来あるべき『亡き人の霊魂を、縁ある人々で弔い慰む』姿が、少しずつ影を潜めているようにも感じております。葬儀のルーツは一説によると、約7万年前のネアンデルタール人が遺体を葬り、花をささげる行為が始まりとも云われ、想像もつかない程の長い歴史においても、生者と亡き人のコミュニケーションシステムが確立され、文化として形を変えながらも今に受継がれてきたものと思います。

近年は ○葬儀は身内に近い人間で ○オリジナル性を出す ○メッセージ性を出したい  
○子供たちに負担をかけないように ○埋葬方法は永代供養や樹木葬で などといった要望が

事前相談で増加しています。以前に比べ自由度が高く、小規模になってきたとはいえ、形は変わっても葬送の根底にあるのは生きた人の面影や物語を形作ること、通夜から葬儀、後に続く一連の行事が、ご遺族に決別の意思をもたらす、そこに『その人らしさ』を想い慰む儀式で、あきらめや癒し、時間の経過とともに心の整理にもつながってくることが、考えられます。私達は皆様が作ってきた文化と、それぞれの尊い歴史の中で、心に記した想いを『自分らしく』伝え、生きてきた証を継承できる環境作りを大切に、1人1人の「心記想伝」が、有縁な人々に残されていくことを強く願っております。

お得なドリーマー会員情報！

コースは20万・30万・50万円のコースです。月払いで2000円・3000円・5000円の100回の掛け金ですが、年払いの場合、それぞれ12ヶ月分から1ヶ月分割引になりますので、毎年11ヶ月分の掛け金となり、満期時には8ヶ月分が割引かれた事となります。

また一括払いの場合は、それぞれの満期金額から8ヶ月分を割引いた金額をご入会の翌月にお支払いしていただくようになります。いずれの場合も割引がありお得になっております。



兵頭

会員について、よくお受けする質問にお答えします

Q. 私達も高齢だしそんなに長くは掛ける事ができないかも…。そんなにお得はないのでは？

A. ドリーマー会員につきましては、会費の積立て回数に関係なく、満期と同等の内容が提供できますので、ご安心下さい。

Q. 同居の家族しか使えませんか…？

A. 別居のご家族の方もご利用になれます。お申込用紙のご家族欄に対象となり得る方のご氏名を記入いただければ、お申込み数が1口であってもどなたにでもご利用は可能です。（ご利用は1口につき1回となります。）近年、ご夫婦で同時期に入会されておくと安心というお客様が増加しております。



横山



山本



高野

8/26 (月) コケ玉を作ろうの会 開催！

受付は9:30より、10:00の開始となります。今回も楽しい時間を過ごせればと考えています。参加希望者は8月23日までにドリーマー中村葬祭館にご連絡下さい。先着20名様で締め切りとなります。参加費用はお一人様、器代込みで600円いただきます。他の準備品はこちらで用意しますので、手ぶらで来ていただいてOK。コケ玉を作った後は、セルフフットケア・足指筋力健康チェックもできますので、お気軽にご連絡下さい。

時 想 ～読者様からのコラム～



70才を過ぎてからというもの、喜ばしいことではないが、知人の葬儀に参列することが多くなってきた。ドリーマーに行った時、入って左の広い会場で通夜があり、前に座っていた女性が咳きこみ少し苦しそうにしていたところ、職員がコップの飲物を差し出し、後にアメを渡していた。女性も幾分と楽になった様子。前から感じの良い会場とは思っていたが、職員の指導・育成も行き届いているのだろうと感心した。自分の葬式を考えた時、特に要望もないが、来てくれる人が快適に過ごせるようにと思うと、近辺ではドリーマーが頭一つ抜けている。

四万十市 匿名希望

例えば、葬儀を経験し感じた事・伝えたい事・川柳や俳句を作成のうえ、内容の解説等を400字以内にて、氏名・住所・連絡先を入れてお送り下さい。（FAX・メール・お葉書等）掲載させていただきました読者様には、粗品を進呈いたします。

FAX番号 0880-35-5408 Eメール: yokota@dreamer-net.co.jp



佐竹



坂



ちよつとだけ勉強のコーナー

お盆も終わり、もうすぐお彼岸の時期ですね。毎年9月の秋分の日をはさんで前後3日合計7日間で、初日を「彼岸の入り」、終日を「彼岸のあけ」といいます。

お彼岸を迎えるには次のような準備をします

お仏壇、仏具の掃除、お墓の掃除、供花やお供え（果物・菓子などの他、精進料理をお供えします）春のお彼岸は牡丹の花にちなんで牡丹餅と言ひ、秋の場合は萩の花にちなんでおはぎと言ひます。お墓参りは、ご家族みんなで出かけるようにしましょう。お墓は家族全員でお守りしていくべきものです。

両親がご先祖様を祀る姿は後の世代に受け継がれてゆくことでしょう。近年お墓の在り方等変化してきていますが、ご先祖様あつての自分達、大切な方をお祀りする気持ちはかわらず、心を込めてお参りしたいものです。



山本